



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月30日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL http://www.foster.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉澤 博三  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	87,481	8.0	3,852	△3.5	4,342	6.8	2,285	△17.4
26年3月期第2四半期	81,032	38.2	3,991	197.0	4,065	158.0	2,767	453.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,959百万円 (△22.0%) 26年3月期第2四半期 5,078百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	97.95	85.44
26年3月期第2四半期	118.63	103.52

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	107,264	52,056	45.4	2,089.51
26年3月期	98,030	48,604	46.3	1,944.73

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 48,745百万円 26年3月期 45,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	2.6	6,800	12.9	7,000	10.6	3,600	55.1	154.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	23,506,015株	26年3月期	23,506,015株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	177,141株	26年3月期	177,093株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	23,328,881株	26年3月期2Q	23,328,995株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)における世界経済は、雇用情勢が改善している米国を中心に総じて緩やかに回復しましたが、新興国での景気減速や度重なる地政学的リスクにより先行き不透明感が高まりました。わが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの属する電子機器・電子部品業界では、中国メーカーを中心とする低価格スマートフォンの拡大に伴い、部品需要は伸張しましたが、単価下落に伴う収益力悪化が懸念されました。一方、電装化が進む車載向け部品は好調に推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは、市場変化に応えた受注確保と、業務効率や生産性の向上及び資材費削減等の原価低減活動に取り組みました。また、生産拠点の再編成を推進し、事業の効率化と固定費削減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、車載用スピーカやモバイルオーディオ向けスピーカの出荷が好調に推移したことから、87,481百万円(前年同期比8.0%増)となりました。利益面につきましては、スマートフォン向けヘッドセットの収益性が低下したこと等から、連結営業利益は、3,852百万円(前年同期比3.5%減)となりました。連結経常利益は為替差益を計上したこと等から4,342百万円(前年同期比6.8%増)となり、連結四半期純利益は、生産拠点(孫会社)の解散等に伴う特別損失を計上したこと等から2,285百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [音響部品・製品事業]

オーディオ用のヘッドホンの生産、出荷は、計画通りに推移し、薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムやモバイルオーディオ向けスピーカを生産、出荷は、好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は14,812百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

#### [自動車用部品・製品事業]

自動車生産及び販売台数は、好調に推移し、車載用スピーカ・スピーカシステム等の生産、出荷は北米市場向けを中心に堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は28,521百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

#### [情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は、中国メーカー等の低価格スマートフォン普及の影響を受け減少しました。

その結果、当事業の売上高は41,424百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

#### [その他]

「フォステクス」ブランドの製品等のその他売上高は2014年1月にスター精密株式会社より譲り受けた小型音響部品事業の売上高を計上したこと等から大幅に伸び、2,723百万円(前年同期比242.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は主に売上債権の増加により前連結会計年度末に比べ9,233百万円増加して107,264百万円となりました。負債は主に仕入債務の増加により前連結会計年度末に比べ5,781百万円増加して55,207百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ3,452百万円増加して52,056百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比0.9ポイント減の45.4%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより5,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ780百万円減少いたしました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、税引等調整前四半期純利益等により2,233百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により3,092百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済等により78百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月2日公表の通期業績予想を修正しました。詳細につきましては、平成26年10月22日に別途開示しています「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

上記業績予想の修正に伴い、1株当たり期末配当予想を3円増配し15円とし、1株当たり年間配当金予想を27円と修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお業績予想の前提となる為替レートは1USドル105円、1ユーロ140円であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方式を見直しました。なお、この変更に伴う期首の利益剰余金並びに損益に影響を与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,225	8,304
受取手形及び売掛金	28,865	34,222
電子記録債権	1,101	707
製品	16,417	19,516
原材料	7,820	9,072
仕掛品	1,291	1,341
貯蔵品	445	386
短期貸付金	49	8
未収入金	1,695	1,528
繰延税金資産	634	764
その他	2,041	2,242
貸倒引当金	△874	△878
流動資産合計	67,713	77,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,490	9,503
機械装置及び運搬具(純額)	9,710	8,956
工具、器具及び備品(純額)	3,016	2,983
土地	1,034	1,056
建設仮勘定	828	822
有形固定資産合計	24,079	23,321
無形固定資産		
ソフトウェア	284	332
借地権	846	861
その他	180	130
無形固定資産合計	1,311	1,323
投資その他の資産		
投資有価証券	2,735	3,224
長期貸付金	45	36
長期前払費用	825	698
退職給付に係る資産	645	741
繰延税金資産	314	315
その他	367	396
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,925	5,403
固定資産合計	30,316	30,048
資産合計	98,030	107,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,889	15,588
電子記録債務	156	74
短期借入金	14,163	16,084
1年内返済予定の長期借入金	1,310	1,208
未払金	3,175	3,697
未払法人税等	698	817
未払費用	1,562	1,521
繰延税金負債	172	239
賞与引当金	596	1,056
その他	1,138	810
流動負債合計	34,865	41,099
固定負債		
新株予約権付社債	6,000	6,000
長期借入金	7,080	6,631
繰延税金負債	779	740
退職給付に係る負債	199	277
役員退職慰労引当金	72	69
資産除去債務	222	224
その他	206	164
固定負債合計	14,560	14,108
負債合計	49,425	55,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,770	3,770
資本剰余金	6,372	6,372
利益剰余金	35,416	37,235
自己株式	△133	△133
株主資本合計	45,426	47,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	638	603
為替換算調整勘定	△581	972
退職給付に係る調整累計額	△115	△75
その他の包括利益累計額合計	△58	1,501
少数株主持分	3,236	3,310
純資産合計	48,604	52,056
負債純資産合計	98,030	107,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	81,032	87,481
売上原価	69,384	75,095
売上総利益	11,647	12,386
販売費及び一般管理費	7,656	8,533
営業利益	3,991	3,852
営業外収益		
受取利息	62	73
受取配当金	15	18
為替差益	14	333
雑収入	219	242
営業外収益合計	311	667
営業外費用		
支払利息	108	95
雑損失	128	81
営業外費用合計	237	177
経常利益	4,065	4,342
特別利益		
固定資産売却益	69	—
国庫補助金	40	—
特別利益合計	110	—
特別損失		
減損損失	—	506
特別退職金	—	209
特別損失合計	—	715
税金等調整前四半期純利益	4,175	3,626
法人税、住民税及び事業税	1,031	1,221
法人税等調整額	231	△114
法人税等合計	1,263	1,107
少数株主損益調整前四半期純利益	2,912	2,519
少数株主利益	145	234
四半期純利益	2,767	2,285



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,912	2,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	278	△34
為替換算調整勘定	1,886	1,426
退職給付に係る調整額	—	48
その他の包括利益合計	2,165	1,440
四半期包括利益	5,078	3,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,707	3,844
少数株主に係る四半期包括利益	371	115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,175	3,626
減価償却費	3,248	2,822
のれん償却額	48	7
前払年金費用の増減額(△は増加)	△45	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△95
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	71
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△47	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	547	423
有形固定資産売却損益(△は益)	△69	—
減損損失	—	506
特別退職金	—	209
受取利息及び受取配当金	△78	△91
支払利息	108	95
為替差損益(△は益)	506	655
売上債権の増減額(△は増加)	△2,875	△4,577
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,135	△3,373
仕入債務の増減額(△は減少)	1,564	2,876
未収入金の増減額(△は増加)	121	232
未払金の増減額(△は減少)	△876	366
その他	258	△186
小計	482	3,569
利息及び配当金の受取額	78	91
利息の支払額	△108	△95
法人税等の支払額	△807	△1,121
特別退職金の支払額	—	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	△354	2,233
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△509
有形固定資産の取得による支出	△1,727	△1,590
有形固定資産の売却による収入	147	—
無形固定資産の取得による支出	△142	△57
定期預金の増減額(△は増加)	△345	△813
短期貸付金の増減額(△は増加)	30	43
長期貸付けによる支出	△10	△6
長期貸付金の回収による収入	9	11
長期前払費用の取得による支出	△134	△190
その他	22	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,150	△3,092

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,980	1,074
長期借入れによる収入	1,799	103
長期借入金の返済による支出	△922	△709
配当金の支払額	△349	△466
少数株主への配当金の支払額	△64	△80
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,442	△78
現金及び現金同等物に係る換算差額	395	156
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	333	△780
現金及び現金同等物の期首残高	5,359	5,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,692	5,055

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音響部品・ 製品事業	自動車用 部品・製品 事業	情報、 通信機器用 部品・製品 事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,869	23,938	44,428	794	81,032	-	81,032
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	11,869	23,938	44,428	794	81,032	-	81,032
セグメント利益	640	1,321	1,994	84	4,040	△48	3,991

(注) 1 セグメントの調整額△48百万円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	音響部品・ 製品事業	自動車用 部品・製品 事業	情報、 通信機器用 部品・製品 事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	14,812	28,521	41,424	2,723	87,481	-	87,481
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	14,812	28,521	41,424	2,723	87,481	-	87,481
セグメント利益	797	1,482	1,503	76	3,859	△7	3,852

(注) 1 セグメントの調整額△7百万円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。